

オーラルセッション — 要約

オンラインサロンから派生する価値共創

— 個人知の融合を促進するコミュニティとは —

甲南大学 マネジメント創造学部 准教授

青木 慶

キーワード

スキルシェア, ユーザーイノベーション, ウェルビーイング

本稿の目的は、個人の持ち合わせる知識や経験（個人知）の共有から、価値共創を実現するプロセスを明らかにすることである。具体的には、オンラインサロンというクローズドのコミュニティの役割を検討する。調査方法は、デプス・インタビュー（n=11）を実施し、グラウンデッド・セオリー・アプローチ（GTA）を用いて、データ分析を行なった。

その結果、新たな価値を生み出す原動力は、何らかの課題を保有する個人が、それを解決しようとする動機づけであり、個人知の融合による知識の深化と、それを促すコミュニティへの信頼の醸成が、価値共創の実現を促すコアカテゴリーとして導出された。また、非金銭的支援に加えて、金銭的支援の体制が整っていることの重要性も明らかになった。

謝辞

本研究はJSPS科研費 JP22K01759 の助成を受けたものです。